

令和5年度 第1回 学校運営協議会〔議事録〕

<概要>

日 時：令和5年7月14日（金）午後7時～8時30分

会 場：本校同窓会館2F 会議室

参加者：（委 員）新崎会長、井関副会長、佐藤委員、重尾委員、富委員
（事務局）准校長、教頭、事務主査、首席、書記

<配布資料>

- ・学校運営協議会 次第および【資料1～7】

<内容>

1. 開会のあいさつ（准校長より）

2. 委員紹介

3. 会長選出

会長→新崎委員

副会長→井関委員

4. 資料説明

資料2の内容確認

5. 報告

（1）本校の現状の説明 【資料3より】

教務部、生徒指導部、保健部、進路指導部、生徒支援委員会、広報情報委員会および各学年団より資料内容提供。

（2）学校経営計画及び学校評価【資料4】

昨年度から比較して大きな変更はなし。

- ・「わかる授業の実現にて」ICTのC（communication）の部分を意識した授業構築を行える環境づくり。
- ・就職関係、職に定着する事を重視した進路指導が目標。
- ・NPO法人と連携し居場所づくりの一環である「なごみカフェ」への活動への協力
NPO法人の「こども食堂」への取り組みに対し、本校より収穫した野菜を提供するという支援のサイクル関係を築く。

(3) スクールポリシーについて【資料5】

スクールポリシーについて

3つのポリシーの内2つを本校で思案作成、明示(意見を学校運営協議会でもらう必要がある)

(4) 令和6年度使用教科書の選定について【資料6】

来年度第3学年の教科書がすべて入れ替わる。

(5) 学校の様子について スライドショーにて説明【資料7】

入学式、生徒会活動、地域連携、実習車寄贈、防災訓練、薬物乱用防止教室、体育祭

6. 協議 (議長 新崎会長)

[新崎会長より]

1. リーディング GIGA ハイスクール指定校に応募した理由は？
 - A. 教員による ICT 機器の活用状況が不十分であったこと、活性化を図りたかった事が理由であり、ICT 機器を活用したいが機器が行き渡らず、活用の足掛けもない状態。その中で教育庁の支援をいただき ICT 機器を教員全体に行き渡らせる事が出来た。

2. ICT 機器を用いた授業のメリット、デメリットがわかれば教えてほしいです。
 - A. メリットは抜群の注目効果。コンテンツ力が大きいので生徒が授業に大きく興味を示してくれる点。デメリットは活用するにあたって個人の電子機器へのスキルが求められる。また、インフラ整備出来る人間に限られており、トラブルの復旧などに時間が掛かってしまう。

[井関委員より]

1. 寄贈してもらったトラックは実習でどのように活用されていますか？
 - A. 現時点では触れる、見るのみです。自動車科に存在する実習車両は乗用車しか存在しないが、本校から斡旋就職する生徒は意外とトラックに触れる就職先が多い(ルート配送や整備)そこで、まずトラックに触れる、乗車してみるなどして見識を広めてもらい、就職先の幅を広げる事を目的に活用しています。生徒からの反応は非常によく、大いに興味を示している様子が見受けられます。

2. 乗車は私有地の学校敷地内なので生徒が運転していますか？
 - A. 教習用補助ブレーキが無いのと、保険の関係で生徒は助手席で乗車体験のみです。

〔佐藤委員より〕

1. コロナ制限撤廃でいろんな様子が見る事が出来たのは嬉しかった。
進路について、企業はとても人手不足の状態です。採用選考を行う立場として、高校生活3年間で何を見つけたか「自分の言葉で」話せることがとても大切。学力テストも行いますが、面接が大切です。とにかく自分の言葉で話せることを重視しています。

〔重尾委員より〕

1. 斡旋就職の就職率を保つことはとても大切。インターンシップなど活用して企業との連携はとれますか？また、グローバルな社会になっているのでそれらを見据えた（主に英語関係、英検受験など）学校経営計画、グラデュエーションポリシーで検討してみてもよいのでは？
- A. 学校斡旋での割合は数字として減っているが自己開拓での就職もあります。企業インターンシップ応募は時間の関係など、本校生徒にはハードルが高く、本校としては入学当初の1年生から続けるキャリア教育を考えている。英検も同じくハードルが高く 全生徒一斉での英語検定の受験は困難である。
※新崎会長より資料の内訳の詳述を求められる。

〔新崎会長より〕

1. 卒業生による、進路講演会しては？
- A. 次年度以降、卒業生への打診を検討してみます。

〔富委員より〕

1. 子どもが就職希望。求人が多いと聞いている。進路の幅広がる。資格取得してさらに広げるつもりです。

〔新崎会長より〕

1. 資料3の P.5 「生徒の様子」でポジティブな意見が多い。本校は本当に生徒の面倒見が良い教育支援をしていると思います。中学校時代、登校に課題のあった子どもが継続して登校できている。学校経営計画にある通り、そのような実績がこの学校にあると思います。

7. 閉会のあいさつ（准校長より）